

ル能ハス、何トナレハ、事實知得ヲ媒介タルヲ得
サレバナリ
之レヲ要スルニ、記録トハ、
文字等ノ符號ヲ記載シタル物ニシテ、事實知
得ヲ媒介タル能力アルモノヲ云フ、

第二節 記録ノ効力

第一款 調成ノ時ニ由ル効力

記録ハ、事實ヲ實驗シタル際ニ、成リタル物ト否
ナル物トニ由テ、其効力ニ差異ナカルベカラス、
蓋シ事實實驗ニ對スル時日經過ノ多少ハ、記憶

調成ノ時ニ由ル記
録ノ効力

強弱ノ原因去爲シ、記憶ハ強弱ハ、記録正否ハ基
因ヲ爲セハナリ、

抑モ吾人ノ記憶ハ、事實ヲ實驗シタル際ニ、強固
ナルモ、時日ノ經過ニ從テ薄弱ナルハ、自然ノ數
ナリ、而テ記録ナルモノハ、全ク記憶ノ反影ニ過
キズ、然ラハ則チ、記憶ノ強固ナル場合ニ、成リタ
ルモノハ、正確ニシテ、其薄弱ナル場合ニ、成リタ
ルモノハ、比較的ニ正確ナラサルハ、誠ニ其所タ
リ、豈記録ノ効力、其調成ノ時ニ由テ、異ラサラシ
メントスルモ得ヘケンヤ、

第二款 調成ノ人ニ由ル効力

調成ノ人ニ由ル記
録ノ効力

記録ハ、其智識經驗アル者ノ手ニ成リタルモノト否ナルモノトニ由テ、効力ニ差異ナカルベカラス、何トナレハ、記憶ノ事實ヲ表現スル方法ノ良否ハ、記録ノ正否ニ非常ノ關係アルモノナリ、而テ其方法ノ良否ハ、蓋シ其智識經驗アルト然ラサルトニ由テ、決スルヲ得見ヨ、現今普通人民ノ手ニ成リタル證書ノ如キ、其レ自体ノミニテハ、殆ンド其意ヲ解スル能ハサルモノ多シ、余ハ斯ル證書ニ遭遇スル毎ニ、先ツ其證書ヲ措キ、其

調成者等ニ對シテ、之レニ記載シタル事實ノ如何ヲ聞クヲ以テ常トス、殊ニ術語ノ意味モ辨セシテ、使用スル者アル故、證書ノ表面上ハ、權利義務ノ關係轉倒スルガ如キモノアリ、是レ其智識アリ、經驗アル、例ヘハ相當官吏等ヲ調成シタル證書ト、同一ツ効力ニアラサルヤ知ルベシ、蓋シ、此場合ニ於ケル記録ノ効力ヲ、法律ニ規定スルモノアリ、所謂公成記録、私成記録是ナリ、公成記録トハ、官吏等公ケテ、資格ヲ以テ、調成シタルモノニシテ、私成記録トハ、一己人ヲ調成シタ

公證人ノ認メタル
證書ノ結果ニ於ル
警嘆

注意ノ疎密ハ錯誤
ノ多少ヲ來ス源ナ
ルカ

ルモノヲ云フ、併シ我國ニ於テ公成記録ニ最モ
強大ノ効力アルヲ見ル、思フニ我國ノ實際ヲ知
ルモノハ彼ノ、公證人ノ認メタル證書ノ結果ニ
付キ、驚嘆セサルナカルベシ、

第三款 輕重ニ由ル効力

其造ル、貴重ナル物ニ付テハ、甚多意注シ、卑輕ナ
ル物ニ付テハ、ケ程意注セサルハ、想ラニ一般ノ
人情然ラサルヲ得ス、蓋シ意注ノ疎密ハ、錯誤ノ
多少ヲ來ス源ナルカ、然ラハ則チ、非常注意ノ下
ニ成リシ記録ト、通常注意ノ下ニ成リシ記録ト、

其効力同一ニアラサルヤ知ルベシ、
此ヲ以テ、記録ノ原本ハ、謄本ヨリ効力強大ニ、謄
本ハ、未タ原本ノ如キ効力ヲ有スル能ハス、何ト
ナレハ、原本ハ、謄本ヨリ貴重ナル物ナレハ、之レ
ヲ調成スル非常ノ注意ヲ用ヘタルベシ、然レモ
謄本ハ、原本ノ如ク貴重ナルモノニアラサレバ、
原本ノ如キ注意ヲ以テ調成シタルコトハ、推測
スル能ハス、而テ謄本ニ、復謄本ナルモノアリ、復
謄本トハ、謄本ノ謄本ニシテ、即チ原本ニ對スル
間接ノ謄本ナリ、其効力、直接ノ謄本ニ優ルモノ

ニラス、

第四款

効力決定ノ方法

記録ハ其調成ノ時
ニ由リ人ニ由リ又
ハ其輕重如何ニ由
リテ効力ヲ異ニス
ルトハ是レ一般ノ
場合ニ於ル觀察ナ
リ

記録ハ其調成ノ時ニ由リ人ニ由リ又ハ其輕重如何ニ由リテ効力ヲ異ニスルモノナリ然レモ是レ一般ノ場合ニ於ル觀察ナレハ特別ノ情况ニ由テ反對ノ効力生セザルニアラス即チ原本ト雖後日ノ變更磨滅等ニ由テ其効力却テ臆本ニ劣ル物ナキニアラス私成記録ト雖注意深ク學識經驗アル者ノ手ニ成リタル物ハ却テ疎忽平凡ナル官吏ノ手ニ成リシ公成記録ニ優ル効

力ナキニアラス知覺神尋常ナラサル者カ事實實驗ノ際ニ認メタル記録ハ必スシモ記憶強固ナル者ノ後日ニ認メタル記録ニ勝ルモノニアラサルベシ必竟記録ノ効力ハ各場合ニ於テ種々ノ情况ニ由テ之レヲ決セサルベカラズ其調成ノ時及ヒ人又ハ其輕重等ノ如キ之レヲ決スルニ必要ナル情况ニ過キス此故ニ豫メ法律ヲ以テ記録ノ効力ヲ規定スルハ甚ダ壓制ナルノミナラス偶マ以テ詐偽ヲ爲ス方法トナス者ナキヲ保セス

法律ヲ以テ記録ノ
効力ヲ規定スルハ
壓制ナリ

第三節 記録ノ變廢

記録ノ變廢ハ、記録ニ記載セル事實ノ一部ヲ變更シ、又ハ全ク其記録ヲ廢棄スルヲ云フ。抑モ事實ノ眞正ヲ知得セントセハ、正確ナル證據ヲ得サルベカラズ、記録ヲ變廢スルハ、正確ナル記録ヲ得ンカ爲メナリ、若シ必要ナルニ之レカ變廢ヲ許サミランカ、其害甚シ例ヘハ、甲者カ、乙者ニ金千圓ニテ土地ヲ賣却セリ、然レモ、故テ賣渡證書ニハ、八百圓ト記載ス、此場合ニ於テハ甲者ニ、其賣渡證書ノ變更ヲ許サズルベカラズ、又丙者カ、丁者ヲ強迫シテ二千圓ノ借用證書ヲ認メシメタリ、但シ丁者ハ、毫モ丙者ニ借金シタルトナシ、此場合ニ於テハ、丁者ニ、其借用證書ノ廢棄ヲ許サルベカラズ、何ソヤ、若シ是レヲ許サミルニ於テハ、甲者ヲシテ其權利ヲ満足セシムル能ハズ、丁者ヲシテ不法ノ損害ヲ蒙ラシムルベナリ、

記録變廢ヲ行フタメ提出證據ヲ制限スベカラズ

然レモ、其變廢ヲ行フ爲メ、提出スル證據ヲ制限スベカラズ、例ヘハ、口頭陳述ヲ以テ、記録ヲ變廢スベガラズ、單純證書ヲ以テ、捺印證書ヲ變廢ス

ベカラズテウ如キ、制限ヲナスベカラス、抑モ捺
 印證書タリ、單純證書タルガ如キハ證據ノ効力
 ナ決定スル、情況ニ過キス、何ゾ必シモ捺印證書
 ノ効力、單純證書ニ優ランヤ、然ラハ則チ、單純證
 書ヲ以テ、捺印證書ヲ變廢スベカラサルノ理、何
 クニアル、然ルニ、止ダ如斯情況ニ由テ、提出證據
 ナ制限スルハ、記錄變廢ヲ許ス目的ヲ満足スル
 能ハサルナリ、
 論者曰ク、若シ記錄ニ明瞭ニ記載スルヲテ、口頭
 陳述ヲ以テ變廢スルガ如キヲ得シカ、變廢ニ變

愚人ノ囈言

廢ヲ加ヘ、其底止スル所ヲ知ラスト、是シ愚人ノ
 囈言ナリ、抑モ裁判チルモノハ、双方ヲ直者トス
 ルモノニアラサルゾ、裁判官ナルモノハ、提出シ
 タル證據ヲ悉ク取ラサルベカラサルモノニア
 ラサルゾ、

第四節 記錄ノ解釋

記錄ハ、其意味明瞭ナルニアラス、解釋ヲ用ヒサ
 レハ眞意ヲ知ル能ハサルモノアリ、之レ記錄解
 釋ノ必要アル所以カ、
 蓋シ、記錄ノ解釋ハ、其文勢、前後ノ關係等ニ由テ、

裁判官ノ自由ニ爲スモ、然レモ、時ニ或ハ解釋ニ付キ、原被ノ間ニ争ナキヲ得ス、例ヘハ契約證書ニ「某處某番地何坪ノ土地賣却ス」ト記載スルモ、同處同番地ニ同坪ノ土地ニケ所アルキハ、其何レヲ指シタルヤニ付キ、争ヒナキニアラス、又白米千俵賣却ス」ト記載スルモ、其一俵ハ何斗入ナリヤ明瞭ナラザレハ、或ハ四斗入ナリ或ハ五斗入ナリト、争フトナキヲ保スベカラサルナリ、斯ル場合ニ於テハ、對手人ノ情狀、又ハ其土地ハ

慣習等、苟モ之レヲ決スルニ必要ナル事實ノ、證明ヲ許ササルベカラス、

第四章 物證

第一節

物證ノ効力

物證ハ、法庭ニ現ハレシキハ、他ノ證據ノ効力ヲ増加スルモ、ナリ、例ヘハ、甲者ハ、血刀ヲ所持セリ、甲者ノ衣服ニ、血液附着セリト、證言スルモ、到底其血刀、其衣服ヲ提出シ能ハサルキハ、其證言ノ効力甚ダ薄弱ナリ、又甲者ハ、乙者ノ窃取セラレタル物品ヲ所持セリト、證言スルモ、未タ其物

法廷内ニ於ル物證ノ効力

法廷外ニ於テ
効力

品ヲ提出シ能ハサルキハ、其證言ノ効力殆シク
空無ナリ、乍併若シ是等ノ物品ニシテ、提出セラ
レシカ、證言ノ効力非常ニ増加スルヤ疑ナシ、
而テ物證ハ、法廷外ニ於テハ、牽聯事實ノ存在ヲ
實驗セシムルモノナリ、殊ニ刑事ノ場合ニ於テ、
犯罪發見ノ端緒ヲ得ルハ、重ニ之レニ由ル例ヘ
ハ、甲者ノ血刀ヲ所持シ、又血液附着ノ衣服ヲ所
持スル事實ヲ、實驗セシムルハ、其血刀、其衣服ナ
リ、若シ甲者ニシテ、是レヲ所持セサランカ、何ソ
其事實ヲ實驗セシムルコトアラン、又甲者ハ、斯ル

物品ヲ所持スレハ、乙者ヲ殺シタルハ、甲者ニア
ラサルカノ疑ヲ生セシムルモ、全ク之レニアリ、

第二節 物證ノ本質

物證ハ獨立ノ證據
ニアラス

物證ハ、獨立ノ證據ニアラス、故ニ物證ノミヲ以
テ、權利義務ヲ判定スル能ハサルナリ、例ヘハ、血
刀、血液ノ附着セル衣服ヲ、法庭ニ提出スルモ、之
レノミニテハ、何ノ事實モ知ル能ハス、然ラハ則
チ、物證ノミニ由テ、權利義務ヲ判定セントスル
モ、爲シ能ハサルナリ、
此故ニ物證ハ、權原事實證明ノ手段タルヲ得カ

物證ハ權原事實證明ノ證據タルヲ得ス

ルナリ、抑モ權原事實證明ノ手段タル物ハ權原事實ヲ直接ニ表スルモノナラサルベカラス例ヘハ契約ノ場合ニ於テ其契約ヲ記載シタル證書ノ如シ犯罪ノ場合ニ於テ其犯罪ヲ目撃シタル證人ノ陳述ノ如シ然ルニ物證ナルモノハ原權事實ノ發生スル前後ニ存スベキ物ニ外ナラス例ヘハ甲者ノ死ハ某毒藥ヲ服シタルニ由ル場合ニ於テ甲者ノ妻ノ手箱ニアリシ某毒藥ノ如シ又乙者カ某物品ヲ遺失シタル場合ニ於テ丙者ノ所持スル乙者ノ記名アル某物品ノ如シ

物證ハ牽聯事實證明ノ附從證ナリ

故ニ物證ハ其性質トシテ權原事實ヲ直接ニ表スル能ハサルナリ、然ラハ則チ物證ノ活動ヲ爲スハ牽聯事實ヲ證明スル場合ニ限ル即チ物證ハ牽聯事實證明ノ附從證ナリ、

蓋シ牽聯事實證明ノ證據ヲ總テ間接證據又ハ情況證據ト稱フルモノアリ然レモ是レ證據ノ本質ヲ明瞭ナラシムルモノニアラズ、

第三節 物證ノ適用

物證ハ重ニ刑事ニ於テ其適用ヲ見ル殊ニ證言

物證ヲ適用スル者
ハ最も大ニ謹マサ
ルベカラス

ニ附從活動ヲ爲ス者ナリ、然レモ物證ニ由テ誤
謬ノ判決ヲ爲シタル例、各國少ナカラス、故ニ之
レヲ適用スルニ於テハ、最も謹マザルベカラス、
左ニ物證適用ノ結果ヲ示ス、
第一款 正判例

其一

化學的方法ノ猛烈ナル火氣ヲ以テ、人体ヲ鎔化
シ既ニ四分五裂シタル殘骨ノ鳥獸等ノ骨碎ト
混和セシモノヲ採蒐シテ、其被害者ノ遺骨タル
ヲ證明シ遂ニ兇手ヲ發見シタル奇獄アリ、

其兇手ハ、北米合衆國ボストン府醫學校ク教師、
プロフェソル、ウヰブストルト稱スル者ニシテ其
被害者ハ「ドクトル」パークマント稱スル者ナリ、
而テ、ウヰブストルハパークマントノ爲メ其金錢貸
借上ノ件ニ付キ、大ニ心ヲ苦シメ從テパークマ
ントヲ厭フノ情アリ、
ウヰブストルハ其金錢貸借上ノ件ニ付キ談話セ
ント欲シパークマント、千八百四十九年十一月
二十三日ノ午後二時ヲ期シテ、己レノ住居セル
醫學校内ニ相會センコトヲ約セリ、而テ其日ノ午

後二時十五分ト覺シキ頃パークマシノ其校内
ニ入りシハ正ニ之レヲ目撃セシ者アリ然レト
モ其後一人モパークマシヲ見ダシ者ナシ是レ
ウブストルノ始メテ嫌疑ヲ受クルニ至リシ所
以ナリ、

法官尋問ニ着手セシキウブストルノ陳述ニ曰
クパークマシト十一月二十三日ヲ以テ校内ニ
會合スルコトヲ約セシハ事實ナリ然レモパー
クマンハ約ニ背キ終ニ校内ニ來リシコトナシ
ト此ニ於テ法官ハ百方策ヲ竭スド雖其犯罪ヲ

證スルニ足ルベキ脈絡ヲ發見セザレバ始メテ
校内ヲ搜尋セント決セリ併シウブストルハ豫
メ之レヲ察シ密カク手ヲ竭シテ搜尋ノ途ヲ妨
ケタリ、
己ニシテ警官校内ニ至リ嚴重ニ搜尋スルコト
日偶マウブストルノ試験場ニ設置セル窖中ヨ
リ鉄碎殘灰等ノ中ニ混和シタル骨碎數片及礦
石ヲ以テ製シタル義齒ノ一塊并ニ鎔解シタル
金塊若干ヲ發見シタリ又校堂ノ地下ニ設ケシ
窖中ヨリモ數片骨碎ヲ得タリ其外茶匣ノ内ヨ

リ體骨ノ全部及數片ノ骨碎ヲ搜出ス、此ニ於テ是等ノ骨碎ヲ一所ニ蒐集シ、一々其次序ヲ逐テ之レヲ整置スルニ恰モ是レパークマント其年齡(六十年許)ヲ同フスル、一男子ノ骸骨ノ全体ヲ爲セリ、加之全身結構ノ後其骨格ノ形狀ヲ見ルニ、正ニパークマンカ、生前ノ骨格ニ固有シタル特形ヲ顯ハシ毫モ差異ノ跡ヲ見ス、右ノ諸證ヲ得タル後刀圭家ニ示シテ之レヲ鑑定セシメシニ、是レ決シテ刀圭ノ道ヲ知ラサル者ノ手ヲ以テ解体セシニアラス、骨碎ハ已ニ四

分五裂スト雖頗ル解剖ノ法ニ協ヒタリト見斷セリ、加之此時ヨリ三年前パークマンノ爲メニ義齒ヲ製シタル三名ノ齒科醫ヲ召喚シテ、窖中ニ存セシ義齒ヲ檢閲セシメシニ、是レ其前ニ造リタルモノニ差ハサル旨ヲ陳述シ、且ツ當時之レヲ造ル爲メパークマンノ顚ノ模型ヲ製セシカ、今尙ホ現存スルヲ以テ之レヲ出シテ義齒ヲ嵌ムルニ、奇ナルカナ兩者相吻合シテ更ニ髮ヲ容ル、ハ間隙モナシ、是レニ於テウヅストルノ罪跡ハ疑ヲ容ル、所ナク、直チニ所刑セラレタ

然レモ若シ校内各所ニ散在セル骨碎ヲ發見シ
或ヒハ是等ノ骨碎ヲ結構シテ、パークマンニ似
タル骨格ヲ得タル如キ諸證ノミニテ、別ニ義齒
ノ證據ヲ得サランニハ、未ダ之レヲ以テウヅブス
トルノ犯罪ヲ證スルニ足レリト云フベカラス
況ンヤウヅブストルカ平素ノ品行ニ於テハ、未ダ
一モ疑フベキ所ナキニ於テオヤ然ルニ審中ニ
投シタル義齒ノ、不思議ニモ其底ニ落ナテ毫モ
火氣ニ觸レス其形ヲ全フセシヲ以テ、遂ニ其罪

ヲ證スルニ至リシハ豈亦天命ナラスヤ、

其二

此ニ掲クル奇獄ハハンマールスミスノ外科醫バ
ルフエクト氏ノ演述ニ係ル所ニシテ、載セテ千
八百三十九年一月刊行ノ「ランセット」ト題セル雜
誌ニアリ、思ニ物證ノ容易ニ確實ヲ得難ク動モ
スレハ誤謬ヲ生シ易キ所以ト、凡ソ支体ノ傷害
ニ係ル疑獄ニ於テハ、最モ精妙幽微ナル醫學的
證據ノ必ス其裁斷上ニ缺クベカラサル所以ヲ、
明示スルノ適例ト稱スベシ、其文ハ即チ左ノ如

、、、余偶マタルムハムクリーンノ客舎バ
 クホースノ前ヲ過キントスルキ其戶外ニ村民
 蝟集シ、某ナル者其弟ヲ謀殺セル嫌疑ヲ受ケシ
 一ヲ以テ、囂々彼レヲ誹謗スルヲ聽ケリ、余歩ヲ
 止メテ尙ホ村民ノ云フ處ヲ聽クニ、某カ前ニ邸
 宅ヲ構ヘタル地内ニ於テ、昨日偶然其遺骸ヲ發
 見セリ、直チニ陪審ヲ募集シテ事實ヲ檢査セシ
 メシカ未タ其結局ニ至ラサルニ由リ、今日モ客
 舎内ニ於テ現ニ檢視ス、已ニ外科醫二名ヲ召喚

シテ其遺骸ヲ檢査セシメシナリト云フ、余敢テ
 其云フ處ヲ疑フノ心アルニアラザレモ親シク
 其實況ヲ目撃セント欲シ直チニ舎内ニ入ルニ、
 檢視官及陪審相參坐シテ頻リニ檢問討議ヲ行
 フヲ見ル、乃チ耳ヲ欽テ之レヲ聽ク、
 サッドニコールト、フアームニ一農夫某アリ、曾テ一
 人ノ弟ト居ヲ同フシ俱ニ農業ヲ營ミシカ、弟ナ
 ルモノハ其性極メテ放恣專横ナリ、併シ兄ノ性
 モ弟ニ讓ラス放恣專横ナルヲ以テ平素其間ニ
 風波ノ絶ユルヲ見ス、其甚シキ時ニ至ツテハ互

ニ毆鬪ヲナスコトアリ、然ルニ或ル年ノ冬弟ハ雪
 夜ニ乘シテ窃カニ其家ヲ失踪セリ、家内ノ者ハ
 翌朝ニ至リ始メテ彼ノ在ラサルヲ怪シミ、頻リ
 ニ家外ノ四邊ヲ搜索スルニ、一窓戸ノ下ヨリ雪
 中ニ彼ノ足跟ヲ印シ、若干ノ距離ニ達スルモノ
 アルヲ見ル、其他一モ別人ノ足跟ナシ、此ニ於テ
 始メテ其失踪ヲ察セリ、而テ其後數日ヲ過クル
 モ更ニ其踪跡ヲ得サルノミナラス、既ニ二三年
 ナ經ルモ未ダ一回ノ音信ナシ、又夫レヨリ今日
 ニ至ルマデ何人モ其所在ヲ聞カス、然ルニ近頃

兄ハ從來ノ邸宅ヲ人ニ賣リ他ニ移轉シ、之レヲ
 買ヒシ人、一日其邸内ノ形狀ヲ變更スル爲メ土
 地ヲ開堀スルニ、偶然土中ヨリ全体ヲ具備スル
 人骨ヲ發見セリ、近隣此事ヲ聞クモノハ、之レ正
 シク往年失踪ト云フ弟某ノ遺骸ナランカ、其兄
 ノ窃カニ彼レヲ殺シテ邸中ニ埋メシヲ、今日計
 ラス發見セシモノナラシト推定シ、囂然兄ノ罪
 ナ唱ヘシヨリ遂ニ陪審ヲ募集シテ之レヲ檢査
 セシムルニ及ベルナリ、
 余右ノ顛末ヲ聽了センカ、尙ホ親シク其遺骸ヲ

検査セント欲シ、試ミニ之レヲ檢視官ニ乞ヒシ
 ニ輒チ之レヲ諾シ、直チニ小吏ニ命シテ籃中ニ
 入レテ室偶ニ在リシ骸骨ヲ出シ、余ニ示セリ、余
 之レヲ取テ一々骨碎ヲ竝列シ全体ヲ造成スル
 ニ、甚ダ矮少ナル人ノ骸骨タルヲ知レリ、而テ頭
 骨ノ縫口殆ンド消失シ、齒牙殆ンド磨損セル所
 アルヲ以テ見レハ、其老年者ノ骸骨タルヲ察シ
 タリ、尙ホ眼ヲ凝シテ腰部ノ骨格ヲ熟視スルニ、
 全ク婦人ノ遺骨タルヲ發見ス、余此ニ至リ豈喫
 驚セサルヲキナ得ンヤ、直チニ此事ヲ陪審ニ告

ケ、且ツ前日之レヲ検査セシ二名ノ外科醫ヲ召
 喚センコトヲ乞ヘリ、然ルニ其一名ハ須臾ニシテ
 此ニ來ルヲ以テ、余告ルニ此事ヲ以テス、彼レ一
 言ニ及ハス直チニ之レニ服シタリ、
 右ノ如キヲ以テ兄某ノ訊問ヲ全ク廢止シ、檢視
 官ハ、彼ニ向ヒ其誤謬ヲ謝シ直チニ解放セリ、而
 テ後日ニ至リ、其骸骨ヲ發見セシ地ハ、往年マテ
 山賊ノ巢窟ニシテ、其黨類ニ死亡者アルキハ之
 レヲ爰ニ埋葬セシコトアリトノ、確證ヲ得タリ、

第二款 誤判例

其一

旅客某ハルニ同テ發セシカ此ヲ隔ル七程程ノ所ニ於テ日將ニ没セントスレハ大ニ歩ヲ疾メテ行ク路傍ヨリ假面ニテ其顔ヲ蔽ヒタタル騎馬ノ一賊忽然跳出シ何ノ言葉モナク旅客ニ迫リ其懷中ヨリ金貨二十ギニアヲ強奪シ忽チ其跡ヲ失セリ然レモ旅客ハ止タ金貨ヲ奪ハレシノミニテ別ニ身体ノ傷害ナケレバ速ニハルニ達セント愈疾歩セシカ未ダ同所ニ達セザルニ偶マシエムスブルールナル者ノ開設セルベ

ル、イント稱スル旅店ヲ發見ス深夜ニ及ヒ恐怖ニ堪ヘザル際ナレハ大ニ安心シ直チニ之レニ投宿セリ

某ハ晚餐ヲ喫セン爲メ自ラ厨房ニ至リ之レヲ命シ厨内ノ人ニ向ヒ途上賊ノ爲メニ金員ヲ強奪サレシ始末ヲ告ゲ且ツ金員ヲ懷中シ旅行スルキハ必ス之レニ一種特別ノ符號ヲ記スレハ賊ノ踪跡ヲ探クル難キニアラスト云ヘリ晚餐後須臾ニシテ店主ブルール其席ニ來リ寒暖ノ辞ヲ終リ某ニ質シテ曰ク貴客今夕途上

ニテ賊ノ爲メ若干金ヲ強奪サレシト果シテ眞
 カ答ヘテ曰ク然リ店主曰ク其金ニハ悉ク符號
 アルヲ聞ケリ之レ亦眞カ曰ク然リ是レニ於
 テ店主ハ低聲耳語シテ曰ク然ラハ拙者ニ於テ
 モ窃カニ疑フ者アリ賊ノ踪跡ヲ知ル容易ナル
 ベシ但シ貴客ノ賊ニ遭ヒシハ凡ソ何時ナルヤ
 曰ク黄昏ナリ店主曰ク果シテ然ラハ益疑フコ
 トアリ

店主ハ從來ノ雇人ニシヨシシエシニシグスナ
 ル者アリ彼レ近來頗ル其分ニ過キタル金ヲ浪
 費シ怪ムベキノ行跡甚ダ多キヲ以テ斷然解雇
 セント欲シタル所以ヲ告ゲ且ツ此日夜ニ入ラ
 ザル前一「ギニア」ノ金貨ヲ錢ニ換ント之レヲ彼
 レニ命セシカ貴客ノ投宿セシ後ニ及ヒ漸ク販
 リ來テ交換ヲ果ス能ハサル旨ヲ告ゲ其金貨ヲ
 還付セリ併シ彼レ充分ノ酒氣ヲ帶ヒタレハ其
 遲延ヲ責ムルモ益ナシト思ヒ一言ヲ加ヘス直
 ナニ眠ニ就カシメタリ又心中ニ翌朝ヲ待チテ
 速カニ彼レヲ放逐セント決セリ此際何心ナク
 シエニンクスカ還付セシ金貨ヲ見ルニ初メ

交付セシモノト異リ其裏面ニ一種ノ符號ヲ記セリ然レモ近頃彼レ若干ノ金ヲ有スレハ敢テ怪マザリシカ過刻厨房ニ於テ貴客カ賊ニ遭ヒシコト並ニ其金員ニハ一々符號アル由ヲ聞クニ及ンデ始メテシエシニングスル怪ムベキヲ覺リ大ニ喫驚セリ右ノ金員ハ拙者未ダ是等ノ實ヲ聞カザル前人ニ償却シ其人已ニ家ニ販リタレハ今直チニ之レヲ得ベカラズト雖是レニ由テ見レバシエシニングスル正シク其賊タルベキヲ以テ黙止スルニ忍ヒス敢テ密告スル

所以ヲ陳ベタリ、
此ニ於テ某ハ大ニ店主ノ忠告ヲ謝シシエシニングスル行爲甚ダ怪ムベキニ由リ此上ハシエシニングスルヲ糾問シテ夫ノ符號ヲ記セル殘餘ノ金ヲ發見セハ其罪跡實ニ疑フベカラズト乃チ主客相伴ヒ房中ニ入レハ彼レ酣醉前後モ知ラス熟睡セリ窃カニ其懷中ヲ探クルニ果シテ十九片ノ「ギニア」金ヲ納メタル金囊ヲ發見セリ、某之レヲ檢スルニ全ク已レノ強奪サレタルモノト異ラス、彼カ罪跡ハ毫モ疑ヲ容ル、所ナキ

ニ至レリ、乃チ主客聲ヲ放チ衆ヲ呼ヒ、且ツシエ
 ンニングスヲ喚起シテ憤然床上ヨリ打落シ其
 罪ヲ責ム、然ルニ彼レハ全ク之レヲ知ラスト陳
 シ、尙ホ頻リニ其冤ヲ鳴シ頑然首服セサリシト
 雖前後ノ情況極メテ大ナルカ故、一人モ其辨解
 ナ信スルモノナシ由テ其夜ハ人ヲシテ嚴ニ彼
 レヲ看守セシメ、翌朝ヲ待テ彼レヲ警官ノ前ニ
 拘引シ主客誓ヲ立テ犯罪ノ情況ヲ陳述セリ、然
 ルニシエニンクスハ、其無辜ヲ訴フルノ外別
 ニ其冤托タル所以ノ證據ヲ提出スル能ハザリ

シヲ以テ、警官ハ更ニ其陳述ヲ信セス、遂ニ
 次ノ裁判期ニ附セント決シ其旨ヲ宣告シタリ、
 シエニンクスノ知己親友ハ、斯ル情況アルヲ
 以テ密カニ其罪ヲ信シ、且ツ交誼ノ情ヨリ頻リ
 ニ彼レヲ慰ミ、乃チ其冤ヲ固執シテ漫リニ法官
 ノ怒リヲ惹起セシヨリハ、寧ロ其罪ヲ自證シテ
 寬恕ノ處分ヲ哀願スルニ如カサル所以ヲ懇々
 諭セント雖彼レ敢然トシテ之レニ從ハズ、審問
 ナ受クルニ及ヒテモ依然其冤托ヲ鳴シタリ、
 然レモ告訴人(旅客)ハ、誓ヲ爲シ前日ノ實況ヲ陳

述シ、現犯ノ賊ハ黄昏ニ際シ假面ヲ被レルヲ以テ、其面貌ノ如何ヲ知ル能ハサルニ其体格ハ、今ヨリ之レヲ考フルニシエシ、ニングスト全ク同一ナリ、又其金囊ハ正ニ余カ携帯セシモノニシテ夫ノ符號ヲ記セシ金貨ニ至テハ余カ有セシモノト毫末ノ差異ナシ、又金囊金員親シク被告ノ懷中ヨリ搜出セルモノナルヲ陳述セリ、店主ブルーチルハ、犯罪ノ當夜彼レニ一片ノ「ギニア」ヲ付シ之レヲ金錢ニ交換セシコトヲ命セシカ、其歸ルニ及ヒテ之レヲ質スニ更ニ交換セザ

ルノミナラス、始メ交付セシ金貨ニハ符號ナキモ此時還付セシモノニハ一種ノ符號ヲ存セシコトヨリ、同夜旅客ト共ニ彼ノ房中ニ於テ金囊金貨ヲ發見セシコトヲ悉ク陳述シ、且ツ之レニ一層ノ効力ヲ與フル爲メ、同日ブルーチルヨリ一片ノ金貨ヲ領収セル者ヲシテ、其一片ヲ法庭ニ提出セシメタリ、而テ之レヲ告訴人ニ示シ他ノ十九片ト比較セシメシニ、其符號一々吻合セルヲ以テ、告訴人ハ其差違ナキヲ誓言セリ、是レニ於テシエシニングストハ、有罪ノ宣告ヲ受

ケ數日ヲ出ス死刑ニ處セラレタリ、然レモ彼ハ其刑ニ就クニ至ルモ、尙ホ憤然其冤ヲ鳴シテ止マザリシトゾ、

然ルニ彼レカ所刑後凡ソ一ケ年ヲ過キ、店主ブルール子ルハ、其家ニ宿セシ旅客某ノ物品ヲ強奪セル罪ヲ以テ死刑ニ處セラレタリ、所刑ノ期將サニ近キニアラントスルニ方リ大ニ悔悟ノ念ヲ發シ、是迄爲セシ數回ノ却掠強奪ノ所爲ヲ一々自證セリ、就中ジエンニングスノ罪ハ全ク已レノ罪跡ヲ蔽フカ爲メノ奸策ニ出タル誣告ヲ

其二

ルコヲモ陳述セリ、關稅ニ没入サレタル不正品ヲ購求シ其販賣ヲ營業トスル、ヤーグジユムーラント稱スル者アリ、斯ル營業ヲ爲ス者ハ不正者ト稱スベカラサルモ到底世人ノ信ヲ得サリキ、殊ニジユムーラントハ此頃非常ニ世人ノ信用ヲ失セリ、
ジユムーラントハ近頃偽造貨幣ヲ携へ、前日彼レヨリ物品ヲ購求セシ者ノ家ニ至リ、之レヲ出シ、是レ前日ノ代價中ヨリ發見セルモノナリ、正貨ニ

交換セヨト請フ、如此コト數回若シ應セサルキハ飽マテ固執シテ請求ス、此事忽チ四方ニ傳聞シ漸ク其業ト信トヲ失フニ至ル、或時ハリスト稱スル者ニ一包ノ貨物ヲ販賣シ、價七十八磅ヲ領収セリ、其金額中英國及葡國ノ金貨ヲ交ヘタルノミナラス、ジムトランハ未ダ一回モハリスト取引シタルコトナキヲ以テ、其貨幣ハ眞偽ヲ疑ヒ頗ル踟躇スル所アリシカハ、ハリス之レヲ察シジムトランニ告ルニ、其貨幣ハ、曾テ自ラ毎片ヲ取り檢量シタルニ、一トシテ偽造若クハ輕量

ノ者ナシト、ジムトラン漸ク諾シ之ヲ領収セリ、其後兩三日ヲ經テジムトランハ金貨七片ヲ携ヘハリスノ家ニ至リ、告ケテ曰ク、是レ前日領収セル七十八磅ノ内ニアリシモノナリ、正貨ヲ出シテ交換スベシト、此ニ於テハリスハ、是レヲ取テ一々點檢シ了リジムトランニ向ヒ、一片トシテ余カ前日交付セシモノニアラス然ラハ何ソ之レヲ交換スルノ責アランヤト、斷言セリジムトランハ再ヒ告ルニ、抑モ此貨幣ハ前日領収セシ後抽斗ノ裡ニ藏置シ固ク鎖セシニ、昨日遇マ

金券ヲ携へ若干ノ金員ヲ求ムル者アリシヲ以テ、乃チ抽斗ヲ開キ其貨幣ヲ出シ交付セントス、此時ニ至リ始メテ其内ヨリ七片ノ偽造金ヲ發見セリ、而テ前日汝ヨリ領収スルニ方リ、余其眞僞ヲ疑ヒシニ汝ノ保證セルヲ以テ始メテ領収セシモノナリト、固ク之レヲ取り飽マテ交換ヲ請ヒテ止マザルヨリハリスハ遂ニ忿ヲ發シ、シムーランヲ詐欺者ナリト詈ルニ至レリ、然レモシムーランハ毫モ屈スルノ色ナク前言ヲ主張シ、且ツハリス尙ホ信セスンハ誓ヲ立テ之レヲ

證スベシト云ヒ、乃チ此七片ノ偽造貨幣ハ正シク前日ハリスヨリ領収セシモノニ違ハスト誓言ス、於此ハリスハ愈忿ニ堪ヘサレモ別ニ爲ス所ヲ知ラサレハ、遂ニシムーランノ言ニ從ヒ、正貨ヲ出シテ之レト交換セリ、然レモ是ヨリ、ハリスハ彼レニ陷レラレタリト信シ、頗ル鬱憤ニ堪ヘズ、至ル所、人ニ遇フ毎ニ、之レヲ訴ヘ口ヲ極メテシムーランヲ罵詈セリ之レヲ聞キシ者ノ中、余モ亦此術中ニ陷リタリ、是レシムーランカ平素ヨリ行フ所ノ得策ナリ、敢

テ今日ニ始マリシコニアラスト告クル者甚ダ多シ、是ヨリ人々ジューランヲ嫌悪シ、遂ニ一人モ之レト交ル者ナキニ及ベリ、
 ジューランハ是全クハリスノ讒謗ニ出ヅルモノトナシ、遂ニ讒謗ノ罪ヲ以テハリスヲ告訴セリ、ハリス之ヲ聞キ益憤恚シ、精神忽チ烈火ノ如ク覺ヘス、詈テ曰ク、彼レ事ヲ好ムノ惡漢自ラ一身ノ殃ヲ招ントス、何ソ之ヲ懲サ、ルヲ得ンヤト、乃チ讒謗訴訟結局ニ至ルヲ待タス、前日己レト均シク、ジューランノ術中ニ陥リタルト云

フ者數名ヲ會シ、告訴狀ヲ作り其顛末ヲ記シ、之レヲ法庭ニ出セリ、是ヲ以テジューランハ忽チ貨幣偽造ノ嫌疑ヲ受ケ逮捕セラレタリ、而テ逮捕ノ時其家内ヲ搜索スルニ、抽斗ノ内ヨリ夥多ノ偽造貨幣ヲ發見シ、其他諸匣ヨリ搜出セル偽造貨幣亦頗ル多シ、加之偽造ノ用ニ供セル種々ノ材料ヲ發見セリ、
 世人ハ皆、ジューランカ偽造貨幣ヲ携ヘテ他人ヲ誣ユルコトアリトノ風説ヲ聞キ、且ツハリスヲ讒謗ノ罪ニ告訴セシ舉アルヲ以テ、一人モ彼

レヲ嫌惡セサルナク、又其刑戮ニ就クヲ渴望セザルモノナキノ勢ニ至レリ、法官ハ直チニ彼レヲ審問シ夫ノ偽造貨幣ハ其家内ヨリ搜出セル器具ヲ以テ、彼レノ偽造セルモノトナシ遂ニ死刑ヲ宣告セリ

爰ニウヰルヤンスナル者アリ、曾テ彫印術ヲ以テ生業トナセシカ頃日其業ヲ廢止シ、別ニ生業ヲ營マズシテ坐食セリ、然ルニウヰルヤニスハ、ジムーランノ罪已ニ定リ、將ニ死刑ニ處セラレントスル一二日前ニ方リ偶マ騎行ヲ試ミシカ

過テ落馬シ立トコロニ死セリ、其妻ハ當時懷胎中ニテ分娩ノ日迫リシカ、之レヲ聞クヤ否ヤ愕然トシテ忽チ氣ヲ失シ昏倒セリ、暫クシテ漸ク生氣ヲ得シカ、爲メニ心身ヲ激衝シ頗ル衰弱ナシ、到底其生ヲ保ツベカラサルヲ覺レリ、急ニ人ヲ馳セテジムーランノ妻ヲ喚ヒ、窃カニ密室ニ招キ秘事ヲ告ケタリ、其要左ノ如シ、
爰ニ四名ノ兇徒アリ、貨幣偽造ヲ以テ業トスルコト既ニ數年ウヰルヤニスハ即チ其一人ナリ、故ニ是迄夫ノ命ヲ奉シ、其偽造貨幣ヲ通用セル

七數回ニ及ヘルノミナラズ、又能ク其秘訣ヲ知
 レリ、而テ四名中其一人ハシムトランノ雇夫ト
 ナリ、窃カニ假鑰數個ヲ貯ヘ、シムトランノ不在
 ナ見、其金匣ヲ開放シ、其中ニ藏ムル正貨ヲ盜ミ、
 能ク其員數ヲ算シ、自ラ貯フル所ノ偽造貨幣ヲ
 以テ之レニ換ヘ、密ニ之レヲ金匣ニ納レ、以テ其
 惡ヲ逞シ此奸策ヲ以テ、今日ニ至ル迄既ニ許多
 ノ金員ヲ盜了セリ、然ルニシムトランハ是レカ
 爲メ日ヲ逐テ生業ヲ失ヒ信用ヲ損セシメミナ
 ラズ、今日遂ニ偽造ノ罪ニ誣ヒラレテ其死將ニ

且夕ニ迫ル若シ一刻モ早ク此事ヲ告發シテ其
 誣罔ヲ解クニアラサレ、終ニ救フベカラズ、
 ウヰルヤンスノ妻ハ此陳述ヲ訖リシカハ精神
 頓ニ衰ヘ、辛フシテ他ノ兇徒ノ所在ヲ告ゲシメ
 ミニテ悶死セリ、是ニ於テシムトランノ妻ハ直
 ナニ此處ヲ出奔シ、警官ニ對シ具カニ其顛末ヲ
 告ゲシガハ、警官ハ忽チ五名ノ兇徒ヲ逮捕セリ、
 三兇徒ヲ各別ニ審問セント欲シ、先ツ以テシム
 トランノ雇夫タリシ者ヲ糺スニ、全ク知ラズト
 陳ス、他ノ一名モ亦然リ、猶他ノ一人ヲ糺問スル

ニ際シ恰モ兇徒ノ家内ヲ搜索セシムル爲メ派遣セシ捕吏偽造貨幣及ヒ之レヲ製造スル器具各種ヲ携ヘ還レリ、其兇徒ハ之レヲ一日シ忽チ顔色ヲ失ヒ頗ル慌然タリシカバ、警官之レヲ認了シ、客ヲ更メ彼レニ諭シテ曰ク、汝若シ證據人トナリ自他ノ罪ヲ陳述セハ、死刑一等ヲ宥ムベシト、是ニ於テ彼ハ異義ヲク之レニ服シ、乃チ年來ウヰルヤンス并ニ他ノ兇徒ト共謀連合シテ貨幣ヲ偽造シタリト陳ベ、又他ノ偽造貨幣及ヒ器具ノ所在ヲモ詳示セリ、是ヲ以テジューラ

シ以處刑公暫ラク停止スルニ至レリ、右ノ證據人ハ、ジューラシノ雇夫及ヒ他ノ一名ノ兇徒カ、曾テ其目前ニ於テ貨幣ヲ偽造シタコト、又其際自他ノ兇徒カ各偽造ニ從事シ、甲ハ何々ヲ製シ、乙ハ何々ヲ造リシト一々之レヲ具陳シ、且ツ其實ヲ誓ヒタリ、是ニ由テ二名ノ兇徒ハ、遂ニ死刑ノ宣告ヲ受ケタリ、然レモジューラシノ金匣中ニ、其偽造ノ器具ノ在リシ事ニ於テ、未ダジューラシニ對スル疑、氷解セサリシカ、是レ全ク其雇夫タル兇漢ノ所爲

ニ出タルモノナリ、
一日其雇夫ノ私有ニ係ル匣中ヨリ、數個ノ鑰并
ニ一個ノ鑰ノ模型ヲ印存スル蠟塊ヲ發見セリ、
右ノ諸鑰ヲ取り一々之レヲ其模型ニ比スルニ、
之レト吻合スルモノ一個ヲ得タリ、而テ此一個
ハ前ニ偽造貨幣及其器具ヲ搜出セルジムーラ
シノ金匣ト適合ス、乃チ之レヲ其雇夫ニ示スニ、
條チ顔色變シ又頻リニ流涕シ其舊惡ヲ懺悔セ
リ、而テ又言テ曰ク、前日警官、雇主ジムーラ
ヲ逮捕スル爲メ其家ニ侵入セシキ、自己私有ノ匣

中ニ其器具ヲ納ムルヲ憶ヒ起シ、若シ之レヲ搜
出サレナハ必ス雇主ノ連累ト認メラレシト思
ヒ、驚愕常チラズ辛フシテ警官樓ニ昇ラントス
ルキ、窃カニ右ノ假鑰ヲ以テ雇主ノ金匣ヲ開キ、
匆卒器具ヲ其中ニ納メ、再ヒ之レヲ鎖シ置ケリ、
右判例ハ、情況證據誤判録ノ拔萃ナリ、思フニ物
證ノ適用ニ於ル利害得失ノ岐ル、所ハ、蓋シ之
レヲ適用スル者ノ、周到精妙ナル注意ノ如何ニ
存スルヲ知ルニ足ル、

證明法原理終

明治二十五年五月十日印刷
同年五月十一日出版

正價金五拾錢

版權登記

版權所有

著者兼發行者

長野縣平民

高野 卯八

東京本郷區森川町壹番地
百號寄留

東京府士族

松澤 玨三

東京麹町區下六番町十七
番地

印刷者
發行所

有斐閣

東京神田區一ツ橋通町七番地

印刷所

(電話番號三
百六十九番)

同勞舍活版所

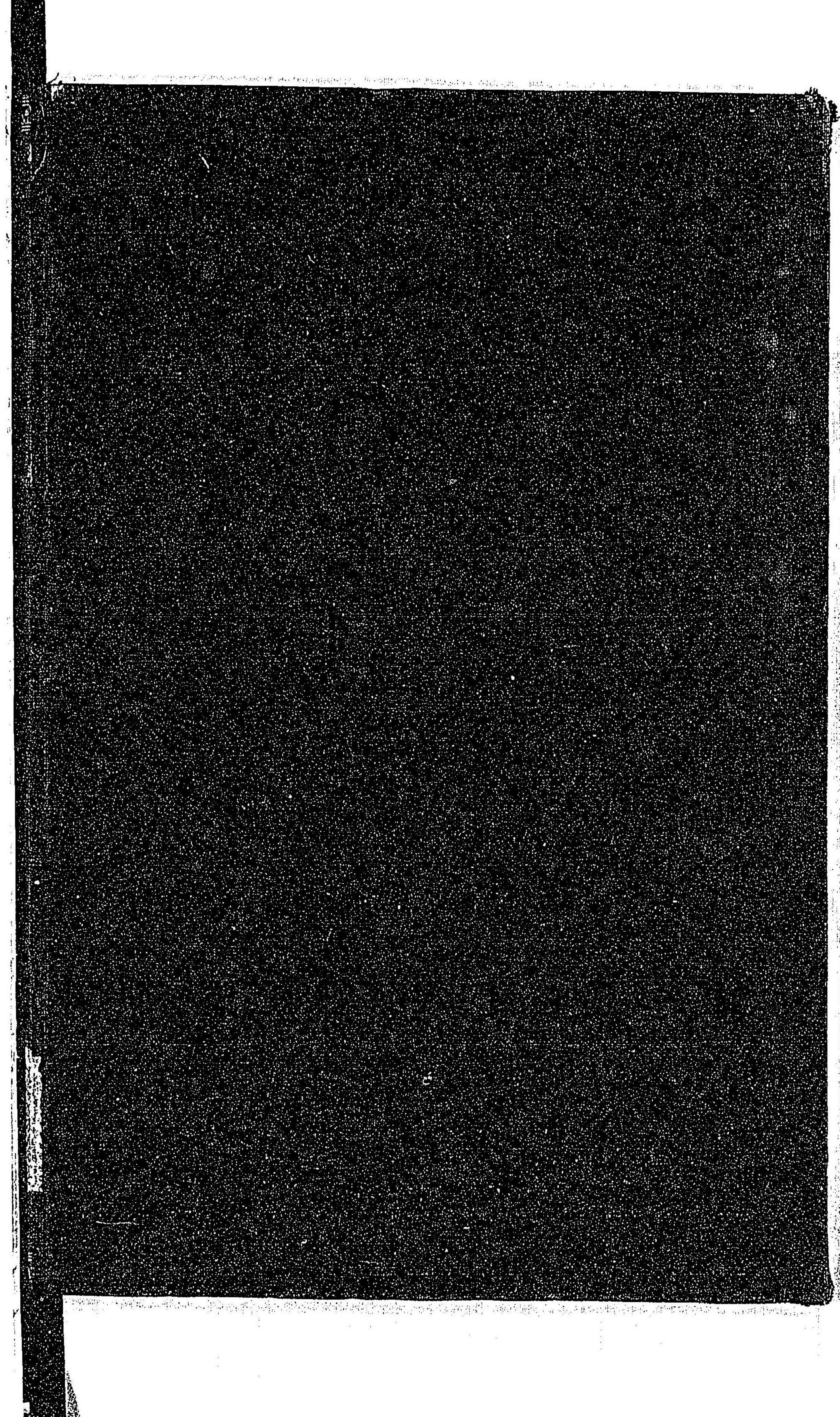
東京麹町區下六番町十七番地

Blank page with faint vertical lines and a small mark in the bottom left corner.

Blank page with faint vertical lines and a small mark in the top right corner.

43
58

Faint, illegible text on the left page, possibly bleed-through from the reverse side. The text is arranged in several columns and is too light to transcribe accurately.



43
58

Ⓜ

036790-000-8

43-58

証明法原理

高野 卯八 / 著

M25

BBS-0225



